

治療方法の開発により、歯を抜かない矯正治療の範囲が広がっています



歯科医師 飛田 晴康先生

飛田歯科医院 院長
1985年大阪歯科大学卒業。東京都港区、
京都府南丹市、神戸市東灘区の歯科医院勤
務を経て、2005年から現職
◆住所 岡山市北区広瀬町 11-19
◆☎086-222-3194



教えて！ドクター

人生100年時代 歯を長持ちさせよう！

Vol.7



とびた先生の歯科Q&A

「人生100年時代、歯を長持ちさせよう」と活動している飛田晴康先生（飛田歯科医院院長）が、トラブルを起こした歯の治療法などを詳しく説明してくれます。※このコラムは2～3カ月に1回掲載

Q

歯並びが悪いので矯正治療をしたいです。職場でいつもマスクを着けているので、矯正するにはチャンスだと思っています。歯を抜かないと矯正治療はできないのでしょうか。（岡山市、T）

「コンピューター・シミュレーションで抜く・抜かないを比較検討できる治療法もあります」

A

歯が凸凹している、前歯が出ている場合の矯正治療は、歯をきれいに

療の範囲が広がりました。

マウスピースを使うインビザライン

並べるために隙間が必要。その隙間を確保するために一部の歯を抜くことが一般的な矯正治療です。

もう一つの方法が、マウスピースを用いて歯を動かす「インビザライン矯正」です。この矯正治

骨にネジを埋めるインプラントアンカー

その方法の一つが「インプラントアンカー」です。骨に小さなスクリュー（ネジ）を埋め込み、これを固定源に歯を奥に動かすことで、隙間を確保することが可能となり、歯を抜かない矯正治療が

へ動き、何度傾け、どの歯を何本削ればよいかの数値として明示されません。そのデータを確認しながら、歯の動かし方、歯を抜く、抜かないなどをシミュレーションで比較しながら検討します。

また、この治療方法の画像は、患者さんに確認してもらい相談できるので、希望に沿った方法を選択することができ

骨にネジを埋めるインプラントアンカー

このように、以前より歯を抜かない矯正治療の範囲が広がりましたが、歯を抜くかどうかは、歯並びの状態や治療方法にもよります。

どのような治療法を選択するかは、担当医と納得するまで相談してから選択することをお勧めします。